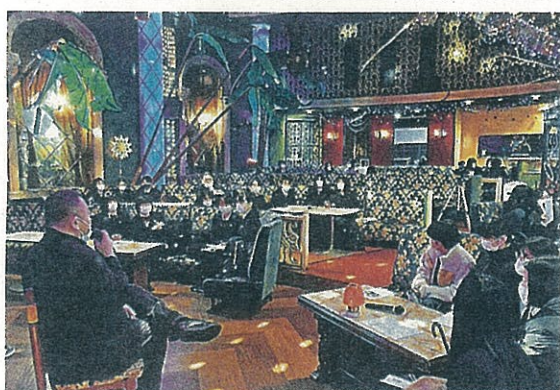


キャバレー経営「興味深い」

高文連
文芸専門部
酒田・白ばらで研修会

庄内地区高校文化連盟文芸専門部(齋藤法明専門部長)の研修会が9日、年内で営業終了する酒田市の元グランドキャバレー「ナイトスポット白ばら」で開かれた。施設を運営する白ばら友社の佐藤仁代表社員が講演し、白ばらの歴史を振り返った。

市内高校の文芸部に所属



佐藤仁代表社員(左)から白ばらについて学ぶ高校生
＝酒田市・ナイトスポット白ばら

する生徒約30人が参加。佐藤さんは往時のにぎわい

や、2015年にグランドキャバレーとして閉店した歴史を紹介。17年に合同会社を設立し、イベントスペースとして活用してきた経過を説明した。営業を終えることについて「自分自身が昭和という時代にこだわり過ぎた面もあった。存続を諦めたわけではなく、次の救世主を待ちたい」と語った。

ることについて「自分自身が昭和という時代にこだわり過ぎた面もあった。存続を諦めたわけではなく、次の救世主を待ちたい」と語った。

同部が佐藤さんに第25回全国高校文化連盟北海道・東北文芸大会山形大会(来年10月)での講演依頼をした縁で、閉店前の施設内を生徒たちに見てもらおうと実現した。酒田東高2年近藤安珠さん(17)は「知ってはいたけれど入るのは初めて。キャバレー経営の背景自体が文芸的で興味深かった」と話していた。

(井上萌々子)